

顧問ご挨拶

貝ノ瀬 滋（文部科学省参与）



7月29日、秋田県由利本荘市において、「平成28年度全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘」が、由利本荘市文化会館で盛大に開催されました。

本年度は、「学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール」を大会テーマとし、全体会並びに5つの分科会をもち、従来以上に現場のニーズに応える充実した大会でありました。

特に、小中連携・一貫教育とCS、地域学校協働本部とCS、高等学校・特別支援学校とCSといった、今まで深く議論されてこなかった部分に光を当てた活発な熟議が行われたことは大変に有意義でした。

また、由利本荘市は、現在の深刻な課題である、少子高齢化と過疎における教育の在り方に対し、真摯な「地域とともにある学校づくり」の実践を提案され、我が国の地方創生に大きな影響を与える大会となりました。

ご承知のように、平成32年度から新しい学習指導要領が順次スタートします。「社会に開かれた教育課程」が強調される中、今後は、更なる学校と地域の連携が求められます。

そのためには、「①子どもや地域の強み・弱みや課題を学校と地域が共に知り、②育成したい子ども像や目標を共に持ち、③関係者が共に汗を流し、④取組を共に振り返る」の協働の仕組みが重要であるという学びを得た貴重な大会でもありました。

今、グローバル社会に生きる私たちは、社会の一員として生きる以前に、「地域の一員として生きる」ことの大切さを再確認することができたと思います。

今回の歴史的に意義のある大会を成功に導いて下さいました、長谷部誠由利本荘市長、佐々田亨三由利本荘市教育長、そして、全国コミュニティ・スクール連絡協議会会長の在田正秀京都市教育長や文部科学省はじめ多くの関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

経歴

【現職】文部科学省参与、政策研究大学院大学客員教授、
東京家政大学特任教授

【経歴】

平成16年～24年 東京都三鷹市教育長
平成23年～25年 第6期中央教育審議会委員
平成25年～27年 内閣官房教育再生実行会議有識者委員
平成28年7月～ 文部科学省参与
平成23年～26年 全国コミュニティ・スクール連絡協議会会長
平成26年～ 全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問



パネルディスカッションでコーディネーターを務める貝ノ瀬顧問（7月29日 カダレーにて）

「2016年（平成28年）全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘」について
（開催地・由利本荘市教育委員会からご報告）

由利本荘市教育長 ご挨拶

佐々田 亨三 （会計監事）



この度、本連絡協議会の会計監事を引き続きお受けすることになりました。在田会長、中野副会長のもと、山脇会計監事とともに、小生はもとより微力ではありますが何卒よろしくお願ひいたします。本連絡協議会は、平成23年2月に設立されましたが、それと前後して小生は文部科学省主催のリアル熟議や三鷹教育、子育て研究所コミュニティ・スクール研究会等で、『未来に生きる子どもたちのために、私たち大人は明日から何ができるか』という熟議に学び、またコミュニティ・スクール実践校を調査研究させてもらいました。その間、由利本荘市では、当時の鈴木寛文部科学副大臣や板東久美子生涯学習局長をお迎えして熟議を開催し、それ以後もPTA熟議の開催や学校、地域が一体となった「ひまわりプロジェクト」、「かかしプロジェクト」等の実践により地域とともにある学校づくりを進めて参りました。学校の統廃合に関わって、学校、PTA、地域の方々と熟議を重ねるなどの歩みの中で、全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。また、本市では、学校と地域が双方向で取り組み、ふるさとに自信と誇りを持つ『ふるさと教育』を基本に、9年間の義務教育を通した中学校区毎に「地域運営協議会」も立ち上げております。

幸い、今年7月29日には、文部科学省や協議会の皆様のご指導のもと、「2016年全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘」を東北・北海道地区で初めて開催させていただきました。参加者も全国各地から千百余名と意義深い大会となりました。

前日の協議会総会、レセプションには、鈴木寛文部科学大臣補佐官が出席され、教育の現状とコミュニティ・スクールの必要性和意義、さらに日本の学力の高さについて、熱く説かれました。また、大会当日には、5つの分科会、実践発表が提案され、特に「高等学校、特別支援学校とコミュニティ・スクール」の分科会を初めて設けることが出来ました。天笠茂先生による「これからのコミュニティ・スクール」と題しての講演では、歴史的な経緯とともに、今後の推進方策について力説されました。パネルディスカッションでは、文部科学省参与になられた貝ノ瀬滋氏の司会で進められ、大会テーマの「学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール」の観点から、地域・家庭との学習環境と学力向上のことや学校統廃合等の課題解決には、学校運営協議会等CSの本旨、『地域とともにある学校づくり』の考え方や取組が鍵を握ることなどが話されました。

このように本大会では、全体を通じて、地域と学校による、よりよい協働の事例が取り上げられ、当事者として主体的に関わる仕組みについても徹底した議論が行われるなど、コミュニティ・スクールの更なる飛躍が期待される研究大会となりました。本大会にご協力くださいました皆様に、開催地として心から感謝し、御礼といたします。

ご報告

7月29日（金）、本市を会場に開催いたしました「2016年全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘」については、おかげさまをもちまして全国より一千名を超える参加者が集い、コミュニティ・スクールについて熱心に語り合う充実した一日となりました。東北・北海道で初めて開催する第5回を迎えた本大会は、これまでの研究大会の成果を踏まえて、「学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール～豊かな心と地域の絆で育む次代を担う人づくり～」を大会テーマとしました。

午前中は、主会場「カダレ」を含めた4会場において、5つの分科会で合計15の教育委員会・学校（学園）の実践を発表していただきました。

第1分科会「魅力あるコミュニティ・スクールの導入と効果」

第2分科会「地域が育む小中連携・一貫教育とコミュニティ・スクール」

第3分科会「コミュニティ・スクールが培う子供たちの能力」

第4分科会「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部」

第5分科会「高等学校・特別支援学校とコミュニティ・スクール」



由利本荘市教育委員会キャラクター「学ぶん」

午後は、「カダレ」大ホールにて、開会行事、基調講演、パネルディスカッションを行いました。天笠茂特任教授（千葉大学教職大学院）による基調講演は、「これからのコミュニティ・スクール～三つの中教審答申を踏まえて～」として、コミュニティ・スクールの理念や今後の推進方策等について学ぶことができた有意義な時間となりました。また、貝ノ瀬滋文部科学大臣参与（文部科学省）をコーディネーターに、高橋興教授（青森中央学院大学）、生重幸恵理事長（特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク）、佐藤昭洋義務教育課長（秋田県教育庁）、佐々田亨三教育長（由利本荘市教育委員会）の4名のパネリストから「学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール」をテーマに確かな実践や知見に満ちた熱い討議をしていただきました。

午前、午後どの場面においても、参加者全員がこれからのコミュニティ・スクールの必要性や意義等について研修を深め合うことができた有意義な大会となりました。ご登壇いただきました皆様、全国各地から参加して下さった皆様、そして大会運営等も含めまして本大会にご尽力くださいましたすべての皆様方のご協力に心より感謝申し上げます、報告とさせていただきます。



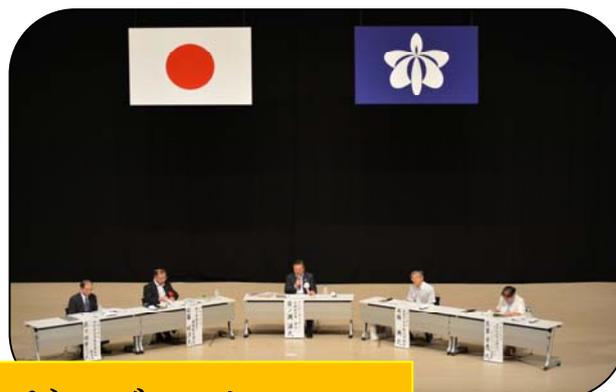
開会行事



分科会



基調講演



パネルディスカッション

平成28年度 総会について（ご報告）

7月28日（木）、由利本荘市で全国の教育長（評議員）及び会員約50名の参加のもと、「全国コミュニティ・スクール連絡協議会総会」が開催され、以下の報告事項について事務局から説明があり、また協議事項について決定しました。

報告事項（事務局から）

- （1）会員の登録状況について …平成28年4月1日時点での会員数421名
- （2）平成27年度の活動・決算について

協議事項（評議員の賛成により、全て決定）

- （1）役員人事

会 長	在田 正秀（京都市教育長）	⇒	（再任）
副 会 長	中野 敏明（上越市教育長）	⇒	（再任）
会計監事	佐々田 亨三（由利本荘市教育長）	⇒	（再任）
	山脇 健（岡山市教育長）	⇒	（再任）
顧 問	鈴木 寛（東京大学教授，慶應義塾大学教授，文部科学大臣補佐官）		
	貝ノ瀬 滋（文部科学省参与，政策研究大学院大学客員教授，東京都教育会会長）		
	生田 義久（京都市教育委員会企画顧問，京都市前教育長）		

- （2）活動方針…会報発行・HPの充実・情報交流・会員募集等，コミュニティ・スクールの積極的な普及・啓発に向けた情報発信及び組織としての連携強化に努める。
- （3）平成28年度の活動・予算…会費は前年度と同額（正会員2,000円，賛助会員20,000円）
- （4）平成29年度全国コミュニティ・スクール研究大会の開催地
開催地 岐阜県岐阜市
日時 平成29年8月4日（金）
会場 長良川国際会議場
なお、本連絡協議会総会は平成29年8月3日（木）にグランヴェール岐山にて行います。



総会終了後、来賓の文部科学省初等中等教育局 藤原 一成 視学官（1列目左から2人目）、高見 太成 参事官付企画官（1列目左から1人目）、廣田 貢 参事官補佐（2列目左から1人目）とともに、役員・評議員の記念撮影。

（事務局） 京都市教育委員会 指導部学校指導課 TEL: (075) 222-3801
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488
Email: gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp